

ワークショップ「読めないお知らせ」(やさしい日本語)

テーマ 多文化共生

ねらい ・日本に暮らす外国人が感じている「ことばの壁」について知る

・「やさしい日本語」の使い方を学ぶ

・「ことばの壁」を乗り越えるために、何が必要なのかを考える

概要 学校から家庭へのお便りなど、日本語の「お知らせ」を外国人にも分かりやすいように書き換える作業を通じて、「ことばの壁」の問題について学び、「多文化共生」を実現するために必要なことについて考える

対象 中学生以上(大人も可)

人数 10人～60人

形態 5～6人ずつのグループでテーブルを囲む

時間 90～150分

ワークショップの流れ

1	10～20分	オリエンテーション、アイス・ブレイキング	
2	10分	グループワーク① 「外国人」の立場を疑似体験 自分が外国で暮らすことになって、子どもが学校からこんなものをもたらってきたら…という想定で、外国語で書かれた「お知らせ」の内容を読み解く	プリント①
3	40～50分	グループワーク② 学校の「お知らせ」を、日本に来て日が浅い外国人にも理解できるように、模造紙に書き換えてみる	プリント② 模造紙 水性マジック
4	20～30分	発表・意見交換 各グループで作成した「(外国人にも解りやすい) お知らせ」を発表してもらい、意見交換を行う	
5	10～15分	ディスカッション 外国人に必要な情報を伝える、「書き換え」以外の方法について考える	
6	10～20分	ふりかえり	

プリント①の例

新生通知

截止3月31日, 需交纳各项杂费合计人民币300元。如不按期交纳, 将有可能被取消入学资格。

입학예정자에게

3월31일까지 입학에 필요한 비용 800000원을 지불해 주시기 바랍니다. 기일까지 지불해 주시지 않으시면 입학허가가 취소될 경우가 있습니다.

학교장

プリント②の例



ワークショップの様子



グループで「書き換え」の作業



完成した「作品」の発表



いろいろな「作品」を見比べながら、重要なポイントを確認して、より良い「お知らせ」の作り方を考える

参加者の感想（大人）

- ・やさしい日本語に替える前に色々な国から来られた人の気持ちになってみる必要があると思った。
- ・学校からのお便りが今回題材として取り上げられたが、地域生活でも同じことがあると思うので、おおいに参考になった。
- ・書き替えることによって、言葉の大切さ、伝える事の難しさ、文化の違いを理解することができた。
- ・書き替えの言葉に各グループの意識が伺え、興味深かった。
- ・書きかえ以外の方法も考えることができた。（お便りの色分け、ママ友、メール活用法）

地方自治体の職員研修（テーマ：やさしい日本語）の参加者の感想

- ・日本語を学ぶ外国人の立場に立って考えることが発想として欠けていた。絵、イラスト等の分かりやすさとともに、誤解の招きやすさに気づいた。
- ・広報でも内容をしぼることが大切ですが、やさしい日本語でもさらに重要だと改めて気づきました。
- ・日本に住む外国人がどのように日本語を学び習得しているのかを意外に理解していないことに気づかされました。
- ・本研修のような機会がなければ考えもしなかったような取り組みであったため、非常に有意義な時間となりました。
- ・正確な案内に努めるがゆえに市民にとっては分かりづらく難しい表現となっていること。易しい＋優しい日本語で物事を伝えられると、より分かりやすくなると感じた。
- ・自分達で当たり前と思っていることを外国人の方に伝えるのが難しいと感じた。
- ・とても楽しい講座でした。
- ・それぞれの母国語によって、ひらがなだけでなく漢字が交じっていた方がよいということや、難しい言葉もかみ砕くだけでなく、あえて言葉を説明して覚えてもらうことも必要だということが、目からウロコでした。

必要な機材等

- 可動式のホワイト・ボード又は黒板
- 水性マジック
- コピー用紙（A4サイズ）
- 模造紙
- マグネット（バー）
- セロテープ